

福岡医発第 2446 (地)

平成 28 年 12 月 5 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 29 年度産業医学基本講座について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清栄のことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、産業医科大学産業生態科学研究所より別添のとおりの通知がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本講座のすべての科目を履修された方は、修了認定後 5 年以内の申請に限り、日本医師会認定産業医の申請資格を得ることができます。

小郡三井医師会より

産業保健担当理事 榎藤秀之

会長 白石恒明

平成 28 年 11 月 18 日

公益社団法人
福岡県医師会 会長 様

産業医科大学
産業生態科学研究所
所長 森本 泰夫

平成 29 年度産業医学基本講座受講案内の送付について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の運営に関しご高配を賜り誠にありがとうございます。

この度、平成 29 年度産業医学基本講座受講案内ができましたので、送付させていただきます。産業医活動に関心のある方々に広報いただければ幸いです。

敬具

【お問合せ先】

〒807-8555

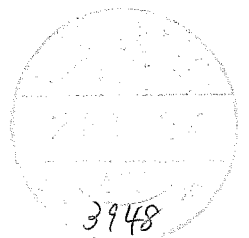
北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

産業医科大学 大学管理課 管理第 2 係

TEL : 093-691-7400 (直通)

FAX : 093-692-1838

E-mail : iessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp



産業医学分野別講座受講のご案内

本学では、産業医活動の基礎から実践までを体系的に、集中的に学ぶことが出来る「産業医学基本講座」を開講しているところですが、平成 29 年度より新たに開講する『東京開催』では、専門性を高めたいという方のために、分野別講座の 7 コースも開講することとなりました。

レベルアップしたい分野の受講、興味ある分野・科目の受講、それぞれのニーズに合わせて選択できます。

平成 29 年度の産業医学基本講座(東京開催)の開講期間は、平成 29 年 6 月から 10 月までとなっております。分野別講座を受講希望の方は、以下の申込手続に従い、お申込み下さい。

受講資格は医科大学・医学部医学科を卒業した者等、基本講座受講対象者と同等です。

受講対象者、時間割他詳細は、産業医科大学ホームページの産業医学基本講座の産業医学分野別講座をご覧ください。

(HP アドレス : <http://www.uoeh-u.ac.jp/medical/training/course/kihonkoza.html>)

(1) コース及び受講料

	コース名	コマ数	受講料	定員
1	法令関係コース	7	29,750 円	5 名
2	作業環境管理関係コース	10	42,500 円	5 名
3	メンタルヘルス関係コース	7	29,750 円	5 名
4	職業性疾病コース	19	80,750 円	5 名
5	両立支援コース	12	51,000 円	5 名
6	作業管理関係コース	13	55,250 円	5 名
7	社会医学系専門医基本コース *	33	140,250 円	5 名

* 日本産業衛生学会専門医制度の資格認定試験受験資格の「体系的な基礎研修」履修済みと認定されます。

※ 単一の科目(4,500 円/コマ)の受講も可能ですが、1～7 コースの定員が優先となります。ご希望される方は、別途下記の間合せ先までご連絡下さい。

(2) 申込方法

ホームページ記載の『提出書類』をご記入のうえ、関係書類一式を郵送にてご提出下さい。

※ 各コースには定員枠がありますので、定員を超える場合は、申し込みをお断りすることがありますので、あらかじめご了承下さい。

(3) 申込期間及び受講料振込

平成 28 年 12 月 1 日(木)～平成 29 年 3 月 31 日(金)まで

※ 受講決定者には、受講許可書をもって通知します。(4 月下旬予定)

※ 受講料の振込みについては、受講許可書送付の際に、別途通知いたします。

振込〆切(予定):平成 29 年 5 月 15 日(月)

(4) 受講修了証

選択した分野別講座のコースにおいて、全ての授業科目を受講した方には、当該コースにかかる学長名の受講修了証を発行します。

(5) 受講取消

受講申込後のキャンセルは、速やかにメールでのキャンセル手続きをお願いいたします。

①送付先メールアドレス : iiessyom@mbbox.pub.uoeh-u.ac.jp

②必要記載事項

Subject : 産業医学分野別講座キャンセル 氏名〇〇〇〇

内 容 : 〇〇〇〇関係コースをキャンセルします。

〇〇〇〇年〇月〇日発信

* メール受信後、担当よりご連絡いたします。

* 受講取消時の受講料の取扱いについての詳細は、ホームページにてご確認ください。

(6) 送付先及び問合せ先

産業医科大学 大学管理課 管理第 2 係

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

TEL:093-691-7400(直通)又は 093-603-1611(代表)内線 2518

FAX : 093-692-1838

E-mail : iiessyom@mbbox.pub.uoeh-u.ac.jp

産業医科大学が世界に誇る講義・実習の講座を
専門的な産業医をめざす
あなたのために開講します。

平成29年度

産業医学基本講座

受講のご案内

本学開催

平成29年4月3日(月)
～5月11日(木)

産業医科大学
産業生態科学研究所

平成29年度 新規開講!!

東京開催

平成29年6月1日(木)
～10月31日(火)

産業医科大学
東京事務所

産業医科大学

産業医科大学が世界に誇る講義・実習の講座を 専門的な産業医をめざすあなたのために開講します。



本学 産業医科大学 産業生態科学研究所



東京 産業医科大学 東京事務所

開講要領

■本学開催

日 程：平成29年4月3日（月）～5月11日（木）

月曜～土曜 8:50～17:50

場 所：産業医科大学 産業生態科学研究所

受講料：210,000円

■東京開催

日 程：平成29年6月1日（木）～10月31日（火）

火曜・木曜 18:30～21:40 土曜 10:30～19:30

場 所：産業医科大学 東京事務所 定員：10名程度

受講料：500,000円

受 講 資 格：医師、歯科医師、修士の学位を持ち産業医科大学が認める者

願 書 提 出 先：産業医科大学 大学管理課 管理第2係

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL：093-691-7400 E-mail：iessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

願書提出期間：＜本学開催＞平成28年12月1日（木）～平成29年2月3日（金）

＜東京開催＞平成28年12月1日（木）～平成29年3月31日（金）

概要

産業医科大学の教員と現職の産業医等が、産業医学の基本的な知識から産業医活動に必要な実践的な技術までを集中して提供する研修で、産業医学の専門的な研究と教育を推進する産業生態科学研究所が運営しています。昭和59年（1984年）、本学医学部第1回生の卒業に合わせて専門的な産業医を育成する卒業後教育課程として設けられた研修ですが、平成8年（1996年）の労働安全衛生法改正に伴い、本学以外の卒業生も受講できるようになったものです。すべての科目を履修された方には、「産業医学ディプロマ（Diploma of Occupational Health）」の証書が授与されます。これまで33年間に3,000人を超える医師等が受講し、約72%が修了しています。なお、例年10人前後は本学以外の卒業生が占め、本学卒業の産業医と交流を深めていただいています。

特典

すべての科目を履修した方には、次の特典があります。

- 1 産業医科大学が発行する「産業医学ディプロマ」（日英両語対応）を取得できます。
- 2 労働安全衛生法に基づき労働安全衛生規則第14条第2項第1号の「産業医」の資格が得られます（医師に限る）。
- 3 国家資格の「労働衛生コンサルタント（保健衛生）」の筆記試験が免除されます（医師・歯科医師に限る）。
- 4 日本産業衛生学会専門医制度の資格認定試験受験資格の「体系的な基礎研修」を履修済みと認定されます。
- 5 日本医師会の「認定産業医」の申請資格が得られます（修了認定後5年以内の申請に限る）。

微生物による職業性疾病

2コマ

微生物による労働者の疾病、医療機関における感染症予防対策

公衆衛生総論

5コマ

公衆衛生活動の歴史、地域保健と母子保健、医療保険制度、社会と健康、災害医療体制と公衆衛生

保健医療政策

2コマ

公衆衛生関連法令、行政の組織と役割、公的医療制度、介護保険制度、地域包括ケア、社会保障政策

行動科学

5コマ

健康に関する行動理論の基本的な概念、ヘルスプロモーションの発展とその代表的なモデル、社会経済要因の健康に与える影響、主要な健康政策とその背景となっている行動科学理論

健康危機管理

5コマ

健康危機管理概論、危機管理体制、大規模災害と保健医療活動、新興感染症対策、食中毒対策、健康危機管理とリスクコミュニケーション

産業医活動の実際

3コマ

企業内健康管理組織論、産業保健サービス提供組織、経営者・労働者からみた産業医学

充実した実技

全36コマ(1コマ/90分)

健康管理実習

5コマ

健康診断と判定・事後措置、職場の喫煙対策、職場環境改善の実際、質問紙法による評価・データ解析、産業保健活動の経済評価

じん肺読影実習

2コマ

じん肺の画像読影、じん肺や石綿関連疾患の労災認定、じん肺の申請

メンタルヘルス対策実習

3コマ

メンタルヘルス対策の計画・企画とその評価、メンタルヘルス不調者の対応に関する事例検討、積極的傾聴法の教育と応用

健康保持増進活動実習

4コマ

トータル・ヘルスプロモーション・プラン、健康測定、運動負荷試験、50%運動強度、運動処方の実際、健康づくりのための身体活動基準2013

救急処置実習

2コマ

企業内で生じた大規模あるいは小規模な事故を想定し、傷病者などの初期の対応及び関連機関(警察、消防、機関病院や役所など)への連絡などについて、机上訓練を行う。実際の防護装備を学び、装着する。

作業環境管理実習

4コマ

作業環境改善実習ー粉じん対策ー、作業環境改善実習ー騒音対策ー、排気・換気装置の維持と性能検査

作業管理実習

5コマ

ピンチメータなどを用いた上肢の筋骨格系障害の評価、姿勢計測手法を用いた重量物取り扱いにおける負荷推定、眠気の主観的・客観的評価方法

疫学実習

5コマ

疫学的手法を用いた研究企画作成・発表、疫学的手法に必要な統計演習

有害業務管理実習

2コマ

化学物質のリスクアセスメント【化学物質等による危険性/有害性の特定、特定された危険性/有害性によるリスクの見積り、リスクを低減するための措置内容の検討、優先度に対応したリスク低減措置の実施】

職場巡視実習

4コマ

DVDによる職場巡視実習を行い、企業・製品の理解、有害業務の内容確認、巡視に必要な装備、指摘方法について理解する。

演習

全10コマ(1コマ/90分)

特別に興味のあるテーマを持つ受講者は、各科目責任者の個別指導により、さらに詳細な学習を行うことができます

研修内容

産業医学の基本的な知識として、産業医の制度と関係法令、職業関連性疾患とその予防、疫学的な考え方等について、各分野の専門家がわかりやすく解説します。産業医活動に必要な実践的な技術として、作業環境測定と快適職場の形成、労働衛生保護具の使い方、職場巡視の進め方、健康管理と健康増進の実践、労働衛生管理体制の構築等について、講義に加えて少人数グループによる実習を行います。各科目の詳細は次の通りです。

体系的な講義

全86コマ(1コマ/90分)

産業医学基本講座導入

5コマ

産業医の業務・専門性・教育、産業医学の歴史・現状と今後の課題、経営者・労働者と産業医学、産業医学における国際的活動

産業医の倫理

2コマ

産業医が企業と労働者の双方との良好な関係を維持し、職業性疾患の予防とともに労働者の就業と健康の両立を支援するための判断や行動のあり方について考える。また、産業保健分野の研究を推進するための手続きや指針について解説する。

労働衛生関係法令

6コマ

産業医に必要な法令(労働基準、安全衛生、労災補償関係)の概要を解説し、労働衛生行政の組織や役割について解説する。また、自主的安全衛生活動の国際標準を紹介する。

健康情報の保護と活用

2コマ

産業保健活動における健康情報の取り扱い、健康情報管理の実践

労働衛生管理と
マネジメントシステム

4コマ

マネジメントシステム概論、基本方針・目標・評価、労働安全衛生マネジメントシステムの構成と文書化、監査と継続的改善の仕組み

リスクアセスメント

2コマ

産業保健におけるリスク・ハザードへの対応、職場巡視の意義とその概要

労働衛生教育

2コマ

労働衛生行政が規定する労働衛生教育の概要、雇入時教育等で実施すべき事項、及び労働衛生教育を実施する際に有用な技法について解説する。教育の内容と産業医の役割、必要な知識、関係者との連携について整理する。

因果関係と疫学

4コマ

産業医学における疫学の役割、記述疫学・曝露の測定・疾病頻度の測定、症例対照研究、コホート研究

作業環境管理と快適職場

6コマ

概論・作業環境測定、作業環境のサンプリングと評価値の演習、粉じん職場、有機溶剤職場、騒音とその対策、環境改善の方法

作業管理と作業改善

6コマ

作業管理の役割、ヒューマンエラーの要因とその低減法、産業睡眠医学、高齢者と労働、作業姿勢と腰痛予防、上肢障害のメカニズムと上肢作業負荷の評価法

一般健康診断と就業適性

2コマ

一般健康診断の実施内容、判定と事後措置、雇入時の健康診断、適正配置

特殊健康診断

2コマ

バイオロジカルモニタリング、特殊健康診断

過重労働と疲労

2コマ

長時間労働や短時間睡眠が循環器疾患や精神障害の発生に与える影響について、近年の疫学研究と社会制度(労災認定基準、労働衛生上の取組)を紹介する。また、人体の概日リズム(サーカディアンリズム)や交替制勤務について解説する。

心理的ストレスと
メンタルヘルス

4コマ

職場のメンタルヘルス概論、ストレスチェック制度の進め方、メンタルヘルス不調者の職場復帰支援、職場におけるアルコール関連問題とその対応

健康増進活動

2コマ

健康日本21(第二次)、健康増進法、ポピュレーション・アプローチ、第二期特定健診・特定保健指導、健康づくりのための身体活動基準2013、職場における健康づくり活動の実例

物理的要因による
職業性疾患

5コマ

放射線の基本的事項を示し、放射線の人体影響及び放射線障害の歴史を解説する。放射線防護(ICRP等)や放射線関連法案を整理し、放射線の安全取扱及び安全管理を解説する。

化学物質による
職業性疾患

8コマ

産業中毒学概論、化学物質による神経疾患、金属中毒、化学物質による血液疾患、化学物質による皮膚疾患、粉じん・化学物質による呼吸器疾患、化学物質と発がん、酸素欠乏症と有害ガス中毒

講義・実習日程

本学

I時限 8:50～10:20/II時限 10:30～12:00/III時限 13:00～14:30/IV時限 14:40～16:10/V時限 16:20～17:50

区 分	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	
4月3日～ 4月8日	4月3日(月)					4月4日(火)					4月5日(水)					4月6日(木)					4月7日(金)					4月8日(土)					✓
	産業医学基本講座導入					産業医の倫理			労働衛生関係法令					健康情報の 保護と活用		労働衛生管理と マネジメントシステム			リスク アセスメント		労働衛生教育		因果関係と疫学								
	①	②	③	④	⑤	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	①	②	③	④	①	②	①	②	①	②	③	④				
4月10日～ 4月15日	4月10日(月)					4月11日(火)					4月12日(水)					4月13日(木)					4月14日(金)					4月15日(土)					✓
	健康管理実習		作業環境管理と 快適職場			健康管理実習		作業環境管理 と快適職場			じん肺読影 実習		作業環境 管理と 快適職場		作業管理と作業改善			一般健康診断 と就業適性		特殊健康診断		過重労働と 疲労		心理的ストレスと メンタルヘルス							
	①	②	①	②	③	③	④	⑤	④	⑤	①	②	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	①	②	①	②	①	②	③	④		
4月17日～ 4月22日	4月17日(月)					4月18日(火)					4月19日(水)					4月20日(木)					4月21日(金)					4月22日(土)					✓
	メンタルヘルス 対策実習		物理的要因による 職業性疾病			健康保持増進 活動実習		物理的要因による 職業性疾病			健康保持増進 活動実習		化学物質による職業性疾病			行動科学		健康危機管理													
	①	②	③	①	②	①	②	③	④	⑤	③	④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	
4月24日～ 4月29日	4月24日(月)					4月25日(火)					4月26日(水)					4月27日(木)					4月28日(金)					4月29日(土)					✓
	作業管理実習		健康保持 増進活動			作業管理実習		救急処置実習			微生物に よる職業 性疾病		作業環境管理実習			微生物に よる職業 性疾病		公衆衛生総論			(休講)										
	①	②	③	①	②	④	⑤	①	②	①	①	②	③	④	②	①	②	③	④	⑤											
5月1日～ 5月6日	5月1日(月)					5月2日(火)					5月3日(水)					5月4日(木)					5月5日(金)					5月6日(土)					✓
	有言業務 管理実習		産業医活動の実際			疫学実習			(休日)			(休日)			(休日)																
	①	②	①	②	③	①	②	③	④	⑤																					
5月8日～ 5月13日	5月8日(月)					5月9日(火)					5月10日(水)					5月11日(木)					5月12日(金)					5月13日(土)					✓
	職場巡視実習				保健医療政策	演習				演習				演習																	
	①	②	③	④																							①	②			

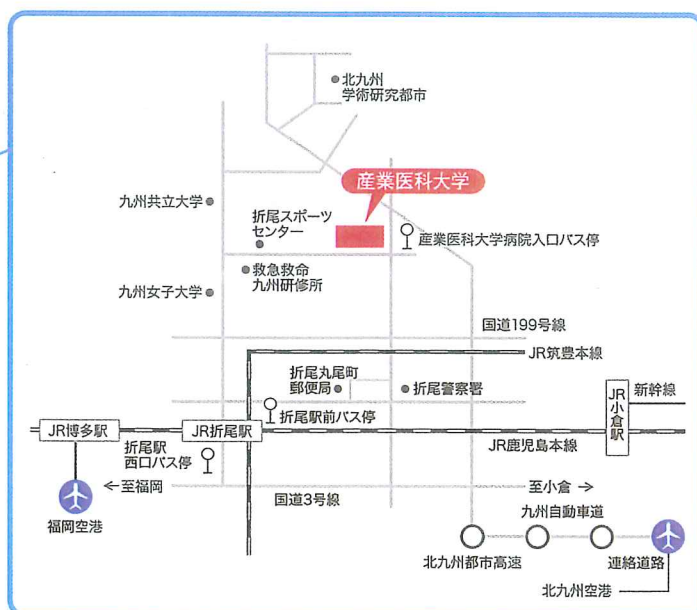
※演習については、受講者から個別に特段の申し出がない限り、原則として実施いたしません。
したがって、5月9日(火)保健医療政策の講義終了後、修了式を行う予定です。

東京

《火・木曜日》VI時限18:30～20:00/VII時限20:10～21:40
《土曜日》I時限10:30～12:00/II時限13:00～14:30/III時限14:40～16:10/IV時限16:20～17:50/V時限18:00～19:30

区 分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
6月1日～ 6月17日			6月1日(木)		6月3日(土)				6月6日(火)		6月8日(木)		6月10日(土)				6月13日(火)		6月15日(木)		6月17日(土)						
			産業医学 基本講座導入		産業医学 基本講座導入		産業医の倫理		労働衛生関係法令		労働衛生関係法令						労働衛生関係法令		健康情報の保護と活用		健康保持増進活動実習						
	①	②	③	④	⑤	①	②	①	②	③	④					⑤	⑥	①	②	①	②	③	④				
6月20日～ 7月8日	6月20日(火)		6月22日(木)		6月24日(土)				6月27日(火)		6月29日(木)		7月1日(土)				7月4日(火)		7月6日(木)		7月8日(土)						
	リスク アセスメント		労働衛生教育						作業環境管理と 快適職場		作業環境管理と 快適職場		因果関係と疫学				作業環境管理と 快適職場		作業管理と 作業改善								
	①	②	①	②					①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②							
7月11日～ 7月29日	7月11日(火)		7月13日(木)		7月15日(土)				7月18日(火)		7月20日(木)		7月22日(土)				7月25日(火)		7月27日(木)		7月29日(土)						
	作業管理と 作業改善		作業管理と 作業改善		一般健康診断 と就業適性		特殊健康診断		過重労働と疲労		心理的ストレスと メンタルヘルス						心理的ストレスと メンタルヘルス		健康保持増進活動		物理的要因による職業性疾患						
	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	①	②	③	④					③	④	①	②	①	②	③	④	⑤		
8月1日～ 8月19日	8月1日(火)		8月3日(木)		8月5日(土)				8月8日(火)		8月10日(木)		8月12日(土)				8月15日(火)		8月17日(木)		8月19日(土)						
	化学物質による 職業性疾患		化学物質による 職業性疾患						化学物質による 職業性疾患		化学物質による 職業性疾患						(休講)		微生物による 職業性疾患		公衆衛生総論						
	①	②	③	④					⑤	⑥	⑦	⑧							①	②	①	②	③	④	⑤		
8月22日～ 9月9日	8月22日(火)		8月24日(木)		8月26日(土)				8月29日(火)		8月31日(木)		9月2日(土)				9月5日(火)		9月7日(木)		9月9日(土)						
	労働衛生管理と マネジメントシステム		労働衛生管理と マネジメントシステム						保健医療政策		行動科学		健康危機管理		行動科学		行動科学										
	①	②	③	④					①	②	③	④	⑤	③	④	⑤											
9月12日～ 9月30日	9月12日(火)		9月14日(木)		9月16日(土)				9月19日(火)		9月21日(木)		9月23日(土)				9月26日(火)		9月28日(木)		9月30日(土)						
	産業医活動の実際		産業医 活動の実際		健康実習		じん肺読影実習		救急処置実習		健康管理実習		健康管理実習						メンタルヘルス 対策実習		メンタルヘルス 対策実習		作業環境管理実習				
	①	②	③			①	①	②	③	④	⑤	②	③	④	⑤					①	②	③					
10月3日～ 10月21日	10月3日(火)		10月5日(木)		10月7日(土)				10月10日(火)		10月12日(木)		10月14日(土)				10月17日(火)		10月19日(木)		10月21日(土)						
	作業管理実習		作業管理実習						有害業務管理実習		作業管理 実習		疫学実習				演習		演習								
	①	②	③	④					①	②	⑤			①	②	③	④	⑤									
10月24日～ 10月31日	10月24日(火)		10月26日(木)		10月28日(土)				10月31日(木)																		
	演習		演習		職場巡回実習				演習																		
					①	②	③	④																			

A map of Europe with a blue dot on the Atlantic coast of France. A blue line extends from this dot northeastwards, passing through the North Sea and ending in the Arctic region.

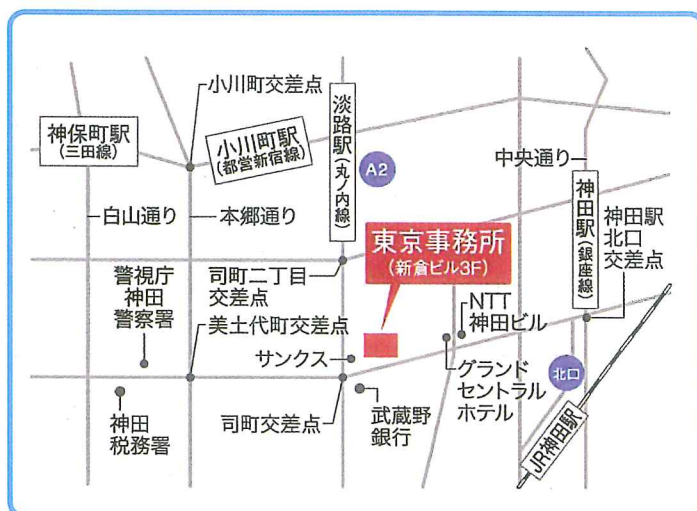


【交通機関】

- JR鹿児島本線折尾駅下車
徒歩 約20分
タクシー 約5分
北九州市営バス 約10分
■北九州空港から直行バスあります 約80分

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

- JR山手線・中央線・京浜東北線、
東京メトロ銀座線「神田」駅北口徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅A2番出口徒歩5分
- 都営新宿線「小川町」駅A2番出口徒歩5分
- 「神田」駅北口を出て、神田警察通りを司町交差点に向かい、
右側にあるグランドセントラルホテルの隣のビルです。
- 「淡路町」・「小川町」駅A2番出口を出て、外堀通りを司町
交差点に向かい、交差点を左折し、約40m先左側にある
ビルです。



産業医科大学 大学管理課 管理第2係(産業生態科学研究所)

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

TEL:093-691-7400 FAX:093-692-1838 E-mail:iiessyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp